

世界から核兵器をなくそう！ヒバクシャの訴えを広げよう！

ヒバクシャ国際署名連絡会宮城

2017年
12月27日発行
ニュース No.04
＜発行責任者＞
宮城県原爆被害者の会

唯一の戦争被爆国としての核兵器廃絶の役割を

～市町村長の賛同すすむ～

県内 35 の自治体中、30 の市町村長 から賛同署名が届く

10月から11月にかけて、仙台市をのぞく宮城県のすべての自治体首長・議長を訪問し、署名賛同要請を行いました。要請では署名の趣旨を説明し、原爆被害者の会木村事務局長から自らの被爆体験をふまえて、「私たちのような被爆を世界中の子どもたちに体験させてはならない」と話し伝えました。12月20日現在35自治体中30の首長から賛同をいただいています。

またあわせて議会に対して、「国へ核兵器禁止条約の批准を求める」意見書提出の陳情を行いました。これを受けて、柴田町議会・色麻町議会・大衡村議会・白石市議会が国に条約の批准を求める意見書を提出しました。仙台市長へは1月に要請の予定です。賛同自治体首長は以下の通りです。

石巻市亀山紘市長・塩竈市佐藤昭市長・気仙沼市菅原茂市長・白石市山田裕一市長・角田市大友喜助市長・多賀城市菊地健次郎市長・岩沼市菊地啓夫市長・登米市熊谷盛廣市長・栗原市千葉健司市長・東松島市渥美巖市長・大崎市伊藤康志市長・蔵王町村上英人町長・七ヶ宿町小関幸一町長・大河原町齋清志町長・村田町佐藤英雄町長・柴田町滝口茂町長・川崎町小山修作町長・丸森町保科郷雄町長・亘理町齋藤貞町長・松島町櫻井公一町長・七ヶ浜町寺澤薫町長・利府町鈴木勝雄町長・大郷町田中學町長・富谷市若生裕俊市長・大衡村萩原達雄村長・色麻町早坂利悦町長・涌谷町大橋信夫町長・美里町相澤清一町長・女川町須田善明町長・南三陸町佐藤仁町長(12/20 現在 30 市町村賛同)



ヒバクシャ国際署名はどこに届くの？

平均年齢 80 歳を超えたヒロシマ・ナガサキの被爆者が、世界の人々に署名を呼びかけています。世界中の人々の「核兵器はいらない」の声を、国連総会に 2020 年まで毎年署名を届けます。世界では億単位、宮城県は 100 万筆を目指しています。

宮城県原爆被害者の会

広島・長崎で原爆の被害を受けた被害者の生存者によって都道府県ごとに結成されています。宮城県は宮城県原爆被害者の会「はぎの会」があり被爆者は 137 人です。追悼平和式典や原爆被害の写真展、ニュースの発行、語り部など活動しています。

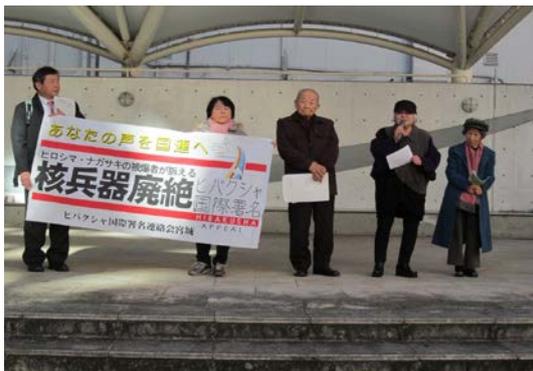
署名が世界を変える

ことし 7 月に、国連では核兵器の使用を禁止する条約が採択されました。核保有国と日本など同盟国が、この条約の批准に向けて引き寄せることができるかは、世界的な圧倒的世論を示すことができる、このヒバクシャ国際署名です。

『ピースウェイブ 2017inみやぎ vol. 3』を開催しました

7月7日に国連で採択された核兵器禁止条約は、現在53ヶ国が署名をし、発効される予定です。また10日ノーベル平和賞がNPO団体「核兵器廃絶国際キャンペーン ICAN」に授与され、核廃絶の機運がかつてなく高まっています。

そのようななか、12月11日（月）に元鍛冶丁公園で約70人が参加して集会のあとアピール行進をし、平和ビル前で街頭署名活動をおこないました。署名は240筆集まりました。



《ヒバクシャ国際署名連絡会宮城》

 **署名数** (2017年11月現在)

78,666筆

ヒバクシャ国際署名連絡会宮城の署名活動に参加する団体は**31**・個人は**55**となりました。

お知らせ

これからの活動

- ・2018年1月10日(水)連絡会会議
仙台福祉プラザ 14:00~16:00
- ・2018年1月17日(水)街頭署名活動
平和ビル前 12:00~13:00
- ・2018年1月23日(火)
仙台市長署名賛同要請訪問
- ・2018年3月10日(土)
ヒバクシャ署名連絡会宮城結成1周年総会
仙台福祉プラザ 10:00~12:00

次回の国連提出の締切り

2018年9月まで



《ヒバクシャ国際署名連絡会宮城》

代表：宮城県原爆被害者の会「はぎの会」事務局
連絡先／木村方 TEL：022-243-2158